

令和 6 年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

呉中央中学校区 校番13 学校名 呉中央中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	継続した目標であり、指標の設定が適切である。
目標達成のための方策の適切さ	A	一貫した方策を掲げ、数値も上がっており、適切である。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	結果分析は適切である。 メディアコントロールがうまくいっているかどうかは、家庭の課題でもあると想定されるが、それらの関連性について今後可能であれば分析して改善に活かせたらと思われる。
今後の改善策(案)の適切さ	A	今後の改善策を継続して行うことで、レベルアップを図ることが大切である。
その他		・業務改善は徹底して行ってください。先生方の人数を増やすことができればよいと思いますが、内容の見直しによって効率化も図れると思います。 ・いじめ撲滅プロジェクトですばらしい標語を聞きました。子どもたちが相手の立場に立ってみて、自分がされたら嫌だと思うことを他人にもしないと誰もが思ってくれればと願います。学校が楽しいと思ってもらえることが大事だと思うので、これからも可能な限り協力していきたいです。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・今後も、探究的な活動や授業改善を進めていく。今年度初めての取組である呉中央学園フェスタは地域の方々との協力をいただいて実現できるものである。中学校中心に生徒の主体的な活動により自尊感情や実践力をさらに高めていきたい。 ・学力向上についてはタブレット教材を効果的に活用し、各自が最適な学習ができるよう支援していきたい。 ・呉中央スタンダード(連絡ノート)や試験計画表等を活用して、教師が生徒の家庭学習の進捗基本的な生活習慣に関わる指導は、継続して行う。面接や面談の機会をできるだけ多く持ち、子どもたちの心の変化を逃さず理解できるように引き続き努めていきたい。
--------------------	---